

具体的な施策・重要業績評価 指標（KPI）進捗状況の 総括評価

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	1 市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保
基本的方向	1 市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化)
具体的な施策	① 市内企業の経営支援
主担当課	産業振興課
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・むさし府中商工会議所と連携し、経営指導や金融支援などといった経営支援を行い、雇用の確保と地域経済の活性化を目指します。 ・商店街のより一層の活性化に向けた取組を支援します。 ・産・学・金・官の連携等を図り、新たな商品開発や人材交流につなげ、市内産業の振興を支援します。

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 融資実行件数	件	300						
		292	283	252	243	247	272	105
		/	B	C	C	C	B	C
② 商店街イベント 事業補助金交付 商店会数	件	32						
		28	30	30	29	29	28	14
		/	A	A	A	A	A	C
③ 技術相談を行っ た件数	件	470						
		463	456	407	462	536	516	368
		/	B	C	B	A	A	C
R2年度指標の分析								
①新型コロナウイルス感染症の影響により、国や都が開始した無利子融資に多くの事業者が流れたため実行件数が減少した。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止する商店会が多くあり、14商店会16事業の実施となった。 ③新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者の活動が縮小され、相談件数が減少した。								

※評価 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

C:遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①申込件数や実行件数ともに減少傾向が続いているが、令和元年度に増加に転じた。ただし、中小企業の景況が緩やかな改善基調にあることなどから、利用は減少している状況である。現在も数値目標に対しては未達の状況が続いているものの、令和元年度までは、数は増加に転じて進行してきていることは評価できる。しかし、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大があり、国や都で行っている無利子無担保の特別貸付にかなりのニーズが流れたため、この施策としては実行件数が大幅に減少した。

②数値は未達ではあるものの、例年どおり事業を行っている商店街に関しては、継続して支援も行っている。ただし、商店街全体の分母から見ると、未だ行っていないところもあるので、こういった課題があって行っていないのかを、地域活性化を図る点においては、引き続き担当課で策を考えてニーズを掘り起こす必要があると思う。令和2年度は件数が14件で評価がCと、これもコロナの影響でイベントがかなり減少している状況である。

③令和元年度までの5年間、特に直近平成30年度や令和元年度は、目標数値を大幅に上回る形で推移している。相談センター拠点の一元化を行ってから増加に転じてきていることは評価できるが、令和2年度は実績が368件、進捗がCである。

この施策に関しては、①から③まで全てコロナの影響が直撃する形になってしまい、令和2年度は全て大幅な減少となっている。

【今後の施策展開に向けて】

①コロナ禍によって疲弊している事業者は府中市内にまだ数多くあるので、国や都の融資から市の方に寄り戻すニーズを見極め、引き続き、支援と制度の周知を継続してもらいたい。

②現在国内のコロナ感染者数が減少してきており、令和4年度以降のイベント増加も期待できる状況になりつつあるため、市としてこれを後押しできるような支援を継続してもらいたい。また、いくつかの商店会をつないで全体を底上げすることを検討したり、オンラインやハイブリッド形式など新しい生活様式に合わせたイベントを開催するなど、時代に即した支援の展開を期待したい。

③ポストコロナ社会に向かうにつれて再び社会活動が活発になっていくので、各種補助金申請支援、また新しい時代に即した技術情報提供のニーズが、高まってくる可能性があるため、必要な方に必要なタイミングで速やかに支援ができるように、体制の維持を期待したい。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	1 市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保
基本的方向	1 市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化)
具体的な施策	② 多様な人材の就労支援
主担当課	産業振興課、地域コミュニティ課
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・就労意欲のある方が積極的に地域で活躍できるよう、若い世代の就業機会の拡大、働く意欲のある高齢者の就業機会の提供などを支援します。 ・講座を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した女性の再就職を支援するとともに、市内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組についての啓発を進めます。

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① いきいきワーク 府中の就職率	%	36.8						
		32.1	27.2	26.4	24.8	24.2	23.7	23.1
		/	C	C	C	C	C	C
② 女性向け再就職 支援の講座数	講座	現状値以上						
		5	5	5	4	3	3	3
		/	A	A	A	B	B	B

R2年度指標の分析

- ①都内トップレベルの事業実績は得ているものの、求職者の高齢化により就業は困難な状況にあることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による求職の縮小が考えられる。
- ②3講座を延べ7回開催し、延べ参加者数は156人だった。

※評価 A: 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B: やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C: 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①いきいきワーク府中の就職率について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前は、景気が非常によく、求職者が全体的に減少傾向にあった。それに伴い、求人者には人手不足感があり、高齢者の採用も活発であったと思われる。その後、令和2年度に新型コロナウイルスの感染拡大となり、全体的に採用活動が抑制され、求人・求職ともに減少してしまった。ハローワークにおいても、令和2年度は求人数が大幅に減少し、現在もまだ回復できていない。そのような中であっても、都内トップレベルの事業実績であることは評価できる。

②女性向け再就職支援の講座数は、特に出産、育児、介護などの理由により離職した方の再就職を目指すスタートラインになると思う。コロナ禍の令和2年度においても、3講座延べ156人の参加者があったことから関心も高いと思われるので、引き続き、再就職支援講座の運営に期待したい。

【今後の施策展開に向けて】

①引き続きの取組になると思うが、求職者のニーズの把握及び高齢者向けの求人確保がキーとなるため、市内事業所に対しての求人開拓をしていくとともに、ハローワークとの連携強化を図るなど、就職率向上を目指していただきたい。

②コロナ禍においては、対面、オンラインなど講座の開催方法をいろいろ検討しなければならない状況であるが、受講を希望している方も多くいるため、定期的な開催をお願いしたい。また、自身のキャリアについて悩んでいる方も多いと聞くので、市民のキャリア相談などができる場の提供などがあるとよいと思う。

※働き方も多様化している中、女性のキャリア支援だけでなく、全世代のキャリア支援が必要と思われるので、キャリア支援やキャリア相談の取組なども施策として期待したい。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	1 市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保
基本的方向	2 起業・創業の推進による産業構造の多様化
具体的な施策	① 起業・創業の支援
主担当課	産業振興課、協働推進課
施策概要	<p>・起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助金制度の情報などについて、相談体制を確保するとともに、セミナーなどにより、起業・創業希望者を支援します。</p> <p>・東京農工大学をはじめとする教育機関や市内団体等と連携し、コミュニティビジネスの立ち上げや、インキュベーションオフィスの活用も含め、商・工・農における起業や創業に関する多様な支援を行います。</p>

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 起業・創業に関するセミナー参加人数	人	90						
		44	115	80	62	72	89	103
		/	A	B	B	B	A	A
② コミュニティビジネスに関するガイダンス・個別相談の参加人数	人	24						
		6	24	10	28	80	80	97
		/	A	B	A	A	A	A
R2年度指標の分析								
<p>①新型コロナウイルス感染症の影響で、テイクアウト中心の飲食業やオンライン事業のニーズが高まり、このような事業に対する創業希望者が増加したことが要因と認識している。</p> <p>②個別相談アドバイザー制度を創設し、利便性を向上したことにより個別相談件数が増加した。</p>								

- ※評価 A: 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B: やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C: 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①平成26年度から開始された創業支援等事業計画に基づき、創業支援プロジェクト機関を中心とした創業支援が確立し、日本政策金融公庫が加わったことで、創業支援等事業の支援策が拡充され、起業・創業に関するセミナーや実践創業塾への参加並びに実際に創業した人も増加傾向にある。令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により、テイクアウトやオンラインの消費者ニーズが高まり、自ら起業を試みる人たちが増えたことで、数値目標の90人を上回る103人が参加したことを評価したい。

②コミュニティビジネスについて、市民活動センターにおいて各種講座や相談事業を展開することにより、少しずつコミュニティビジネスの実践者が増えてきている。また、金融機関による個別相談事業をはじめとして、市民活動センタープラッツ等と連携して事業を実施することができている。令和2年度についてはコロナ禍における社会的課題が多く散見されたことにより、それらを解決したいと思う人が、ガイダンスや個別相談へと参加したと考えられ、数値目標24人を大きく上回る97人が参加する結果となったことを評価したい。

【今後の施策展開に向けて】

①起業・創業セミナー等の参加人数を増やすことは、大きな流れでいうと、あくまでも通過点である。府中市内での起業・創業者を増やし、継続して事業を行ってもらうことが目的であるため、創業後も手厚い支援が受けられ、事業が継続できるような仕組み作りの構築をしてもらいたい。また、企業・創業者のシェアを広げるためにも、創業成功者の生の成功体験を多く取り上げて広めてもらいたい。

②コミュニティビジネスという言葉がようやく一般にも知られるようになってきている。社会課題解決は、コミュニティビジネスの主催者だけでは解決できないことも多く、創業支援機関の協力のほか、地域全体が一体となって課題を認知し、解決したいという機運の醸成が必要である。コミュニティビジネスの立ち上げを支援するとともに、コミュニティビジネスを取り巻く人にも目を向け、つながりを意識した取組を期待したい。

※①と②の共通点として、起業・創業やコミュニティビジネスの関心が高まっている。今後、多くの創業者が府中市での子育てや高齢化、また商店街等の空き店舗の課題を解決するためにも、子どもを預かる場所や高齢者が気軽に集まれるコミュニティの創出など、府中市が抱える課題を解決する支援策の検討を期待したい。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	2 定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1 府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	① 市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進
主担当課	観光プロモーション課、広報課
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や市内の事業者、企業、学校等と連携を図り、市の魅力を発信して、来訪者の増加を図ります。また、市民に対しては、市の魅力を再認識してもらい、住み続けたいと思う市民を増やします。 ・府中市の魅力を再発見を行政だけでなく、市民、各種団体等と協働で取り組み、「武蔵国 府中大使」や様々な機会・媒体を通じて発信し、にぎわいの増進を図ります。

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 京王線府中駅における1日の乗降人員	人	現状値以上						
		85,279	86,949	88,100	90,224	90,316	88,769	62,986
		/	A	A	A	A	A	B
② 市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合	%	15.0以下						
		17.7	17.3	17.4	17.0	16.6	16.9	22.1
		/	B	B	B	B	B	B
R2年度指標の分析								
①新型コロナウイルスの影響により、人の移動が抑制されたため、数値が大幅に減少したものだと考えられる。 ②新型コロナウイルスの影響で、市政情報に対する関心が強まり、市政情報を得ようとする市民の数が増加したため、それに応じて増加したと考えられる。								

※評価 A: 目標達成に向け、順調に進捗している。

B: やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

C: 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①2019年度のラグビーワールドカップ開催、2020オリンピック・パラリンピック開催を機会として、外国人観光客に向け本市認知度の向上のための情報発信、多言語化などに取り組んだことを評価したい。コロナ蔓延の影響で直近の指標は大きく落ち込んでいる。

②テープ広報、テレビ広報、ホームページやツイッターなど様々なチャンネルで市政情報を発信し、結果として市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合は、目標に対して徐々に下がってきたが、横ばい傾向で手詰まりな状況が伺える。さらに令和2年度は、コロナに関する市政情報を得たいというニーズに対して、欲しい情報が得られていないと感じる市民が増えてしまった。

【今後の施策展開に向けて】

①指標に関して他市との比較を行うことが必要である。京王線府中駅の乗降人員は、新宿駅に大きく左右されてしまうし、平日は通勤通学を多く含んでしまう。この日にこのイベントを行ったから増えたなど、施策と指標の連動性がもっと見えるようになるとうい。

今後、施策を展開していく際には、人口規模が近い近隣市をベンチマークにし、それと比較するなど、指標の見直しと共に施策のブラッシュアップが望まれる。

②市政情報の方も、なかなか判断が難しい指標である。現状の指標に加え、新規流入や子育て層を対象とした指標を追加すること、施策面ではこれらの層が必要とする情報とそれに適した発信手段(LINE、ツイッターなど)を検討すること、が望まれる。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	2 定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1 府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	② 地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	観光プロモーション課、産業振興課、政策課
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・府中駅周辺のエリアマネジメントを推進し、にぎわいを創出することで、中心市街地の活性化を図ります。 ・ラグビーワールドカップ日本大会及び東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、日本全国に、そして海外に府中市の魅力を発信するとともに、地域が一体となって国内及び海外からの訪問者の受入環境の充実・強化を進めます。

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 休日のけやき並木通りの歩行者交通量	人	現状値以上						
		19,378	19,378	15,586	25,500	26,232	28,330	24,416
		H27年度の実績	—	C	A	A	A	A
R2年度指標の分析								
①新型コロナウイルス感染症の影響で、けやき並木を中心としたイベントは概ね中止となったが、中心市街地のにぎわい創出事業の効果が一部寄与し、現状値比は増となったと認識している。								

※評価 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

C:遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①基本的にイベントが多いので、令和2年度はコロナの影響で実施ができなかった。コロナ前は、府中市観光協会や市、都、一般社団法人まちづくり府中が連携しながら様々な事業を行っていて、基本的にはけやき並木通りの歩行者数の推移を見ると、現状を大きく上回ってきているので目標は達成できている。コロナの影響もあり令和2年度は実績が下がっているが、現状値以上を達成している実態を見れば、一つの成果が表れていると評価できる。

【今後の施策展開に向けて】

①ラグビーワールドカップ2019の開催に伴い、にぎわいの創出につながったところがあるが、最も大事なことは、こういった国際的なイベントを契機として、府中市の認知度を高めることである。将来的にはこういった大きなイベントの誘致、連携をすることで相乗効果を生み、府中市の認知度を高めるとともに、府中市に将来的に訪れる方を増やしていく。そのために、市外の方だけではなく、市民であっても最近では府中市のことをよく知らない方もいるので、外国の方も含めて、府中を知らない方に対する情報発信をこまめに行っていく必要がある。

様々なイベントを実施しながら、世界的なイベント、大きなイベントを契機にPRを強化し、強く情報を発信していくことが必要で、継続的にこのような施策を行ってほしい。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	2 定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成		
基本的方向	2 郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成		
具体的な施策	① 歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実		
主担当課	文化生涯学習課、スポーツ振興課	関係課	ふるさと文化財課、美術館
施策概要	・府中市の伝統芸能や芸術文化を継承していくとともに、文化施設や歴史・文化遺産を活用して、郷土愛を持てるまちを目指します。 ・スポーツタウン府中の発展に向け、各種競技団体、市内の大学や市内を活動拠点とするトップチームなどとの連携を深め、府中市ならではの事業を展開します。		

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 郷土の森博物館及び美術館の入場者数	人	533,000						
		489,602	498,579	569,685	530,738	419,188	579,175	265,590
		/	A	A	A	B	A	C
② 大学やトップチームと連携する事業数	事業	3						
		2	2	3	4	5	5	0
		/	A	A	A	A	A	C
R2年度指標の分析								
①新型コロナウイルス感染症の影響により、2か月間の休館、施設等の人数制限、各イベント事業の休止等を行ったため、大幅に減少したと考えられる。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントは開催できなかった。 ※次年度の事業実施に向けて、各チームと情報交換等を行った。								

※評価 A: 目標達成に向け、順調に進捗している。

B: やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

C: 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①郷土の森博物館及び美術館の入場者数は、郷土の森博物館や美術館をはじめとする文化施設において、新しい展示や体験学習、様々な企画などを実施するとともに、施設の修繕や一部改修を行うなど、利用者の利便性の向上を図ることにより、入場者数は増加し、令和元年度時点で指標の目標値を上回っていることから、全体的には、概ね順調に進捗してきたと評価できる。ただし、令和2年度については、コロナ禍の影響により、一時的に数値を落としているので、収束後の盛り返しに期待したい。

②大学やトップチームと連携する事業数は、各トップチームとの連携を深め、市民がスポーツに親しむことができるよう事業を実施してきたことなどにより、平成28年度の段階で指標の目標値をクリアするとともに、その後も連携事業の増加に努めるなど、数値目標を大きく上回る内容で施策展開できている点は評価できる。令和2年度は、コロナの影響により事業を中止したことから評価を下げているが、大学や企業との情報交換は実施しているとのことで、取組も継続してもらいたい。

【今後の施策展開に向けて】

①各文化施設の入場者数の増加の要因を明確にして、コロナの収束後に向けて、今後の取組の発展につなげてもらいたい。また、伝統芸能や芸術文化を継承していき資源を活用することで、郷土愛を持てるまちを目指してもらいたい。

②各トップチームとの連携は、本市の特徴であり、ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックといった国際大会のレガシーの創出といった意味でも、更なる振興に努めてもらいたい。また、参加者のニーズを把握し、満足度の向上に努めるとともに、新たな事業展開にも期待したい。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	3 若い世代の出産・子育てへの希望の実現
基本的方向	1 若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり
具体的な施策	① 安心して妊娠・出産できるサポート体制の充実
主担当課	子育て応援課、子ども家庭支援課
施策概要	・妊娠期からの子育て不安の解消に向けて、適切な情報提供を行うとともに、各種健診や教室などを実施します。また、出産前後の家庭の育児や家事を支援し、出産に係る母親の負担感の軽減を図ります。

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① Fu-CHUこそだてサイト「ふわっと」アクセス数	人	現状値以上						
		24,807	26,924	23,887	50,146	59,276	41,115	35,569
		/	A	B	A	A	A	A
② 産前産後家庭サポート事業の新規登録世帯	世帯	現状値以上						
		213	224	220	213	269	328	236
		/	A	A	A	A	A	A
R2年度指標の分析								
①未就学児童人口の減少に伴い、利用者数が減少傾向にある中、コロナ禍でイベントが中止、縮小しているため、アクセス数が減少したと考えられる。 ②新型コロナウイルス感染症による減少と考えられるが、延べ利用時間数は前年並みであった。親族サポートが受けられない方が利用したものとみられる。								

※評価 A: 目標達成に向け、順調に進捗している。

B: やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

C: 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①サイトのリニューアルやアプリ機能の追加など、様々な取組により成果をあげることができ、目標達成に向けて順調に進捗している。令和2年度はコロナ禍でアクセス数が減少したが、原因は感染症を恐れて利用者が減っただけではなく、リーフレット配布などアプリ以外の媒体により情報提供が広がったことが考えられる。アクセス数のみではなく、様々な情報発信が広がり、多くの方が不安を解消できるようになってきた点を総合して評価したい。

②産前産後家庭サポート事業の実施により育児不安の解消等を図り、また、周知方法の工夫などにより登録者数は順調に増加している。令和2年はコロナ禍で減少したものの目標は上回っており、母子保健に担当部署を事務移管したことによって登録者が増大し、よりこの事業が使いやすくなり、多くの方が利用できるようになってきていることも含め評価できる。

【今後の施策展開に向けて】

①子育てサイト及びアプリについては、新たな事業などの情報提供や、適切な支援を選択できる総合的なウェブサービスの設置を期待したい。子育て中の母親たちの不安が増加している状況もあり、今後の施策の中に、民間のアプリや子育てサイトなども一目瞭然に分かる、総合的な情報提供を検討してもらいたい。

②母親たちの多くは、育児支援期間を終えると、就職を希望する方が非常に多くなっている。短い時間でも母親が子どもを預けて働ける場所を、行政と一緒に支援していく体制をつくっていくことを期待したい。また、育児に関わる不安の解消などの支援があることを周知し、受け入れ態勢を充実していくことを検討してもらいたい。

①②ともに特定の方が繰り返し利用していて、必要な方に十分に行き渡っていないことが課題として挙げられている。アプリや子育てサイト以外にも紙媒体やメール配信、市民団体の相談機能や居場所も含めた、様々な活用により、多くの方に情報が届くよう発信を期待したい。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	3 若い世代の出産・子育てへの希望の実現
基本的方向	1 若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり
具体的な施策	② 安心して子育てができる環境の整備
主担当課	保育支援課、子育て応援課、子ども家庭支援課
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な時期に乳幼児の各種健診や訪問を行い、発育と発達の状況把握や疾病の早期発見に努めることにより、医療などと連携したきめ細かい保健指導を行います。また、各種予防接種を実施し、子どもの健康を守ります。 ・待機児童の解消に向け、既存施設の有効活用などのソフト面の手法と施設の整備などによるハード面の手法を併用することにより、保育サービス量の拡充に取り組むとともに、保育の質の向上を目指します。また、地域の様々な人材や団体、施設などの社会資源との連携や協働を図り、地域全体で子ども・子育てを支える環境づくりを進めます。 ・子ども医療費助成など、経済的な支援を行います。

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 新生児訪問実施率	%	97.0						
		86.9	86.1	80.7	88.8	82.3	88.0	89.1
		/	B	C	B	C	B	B
② 特定教育・保育施設の数	箇所	54						
		47	50	52	54	57	60	61
		/	A	A	A	A	A	A
③ 安心して出産し、子育てできると感じている市民の割合	%	50						
		48.5	50.3	49.6	49.7	50.3	54.1	54.1
		/	A	B	B	A	A	A
R2年度指標の分析								
①コロナ感染症対策を行い訪問し、実施率の低下はなかった。 ②認可保育所(私立保育園)の整備事業候補者を公募し、選定した事業者候補に対する施設整備に対して開設準備支援を実施し、令和3年4月1日付けで認可保育所を2施設開設した。 ③新型コロナウイルス感染症対策として、郵送手続きやリモート講座の導入、定期的期間を超えても予防接種できる体制を整えたことにより、感染症不安による割合の低下がなかった。								

※評価 A:目標達成に向け、順調に進捗している。
 B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C:遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①新生児訪問実施率は、KPIの目標値がかなり高く97%になっているが、府中市の特性として里帰り出産が多いので、なかなか数字の上では目標達成が難しい状況が続いている。ただし、実態としては、各種健診や予防接種の実施率などが極めて高水準で実施されており、またその里帰り出産先で訪問を希望されている方への、里帰り先の自治体での訪問を要請するというような形で、かなりきめ細かい形でカバーされていることが確認できる。その意味では、この①に関しても、実際のところは進捗状況としては極めて良好な形で達成がなされていると判断できる。この指標が、実態を映す形で設定されているとよかった。

②特定教育・保育施設の数、いわゆる待機児童対策が急がれているところだが、継続的な形で認可保育所も定員を増やしたり、また、認可外の保育所や多様な形で子どもを預かる場を拡充する取組が着々となされている。待機児童の完全な解消というのはなかなか難しいが、確実に着実にその対策が取られ続けてきていると評価できる。

③安心して出産し、子育てできると感じている市民の割合は、着実に増えてきている。その背景としては、子育ての不安を解消するための子育てひろばの実施、これは数としても増やしていたり、またその各種相談を拡充することも進んできている。また、もう一つ経済的な負担、子育て家庭の経済的な負担の軽減も、取組が続いていることが数字に反映していると見ることができ、全体として着実に目標を達成するような形で事業が進んでいると評価できる。

【今後の施策展開に向けて】

①これまでも実態としてしっかりとした取組がされているので、これらを継続して拡充することを期待する。令和2年度の状況を見ても、このコロナの状況下でも実施率が全く下がっておらず、むしろ若干上昇しているほどなので、新生児訪問の実施に関しては、コロナ禍の子育て家庭が不安な状況の中で着実に事業を進めているというところは、大変頼もしい。

②子どもを預かる場を増やしていくことは期待される場所だが、それに加えて、質の部分の拡充、充実も期待したい。これまでも保育者への研修の実施など、質に向けた着眼点を持ってそのような事業を展開されているので、そういった質の部分の充実は今後ますます期待したい。

③コロナ禍で子育て家庭の孤立を解消することや経済的な負担を軽減することは、他の施策でも求められているが、特にこの③ではますますそういったきめ細かい取組の実施を期待したい。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	4 地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	1 みんなが安心して暮らせる地域づくり
具体的な施策	① 防災・防犯体制の強化
主担当課	防災危機管理課、地域安全対策課
施策概要	・全ての市民が安心して暮らし続けられるよう、地域の防災・防犯体制を強化するとともに、災害に強い都市基盤づくりを進めます。

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 日頃から家庭で災害に対する備えをしている市民の割合	%	80.0						
		62.2	57.4	62.0	55.8	66.8	68.8	70.1
		/	B	B	C	B	B	B
② 地域安全リーダー講習会受講者数	人	450						
		311	332	354	374	387	400	400
		/	A	A	B	B	B	C
R2年度指標の分析								
①新型コロナウイルス感染症の影響により自主防災連絡会が開催できず、訓練や講座の回数も減少したが、広報紙などを活用し防災意識の啓発ができた。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止とした。								

- ※評価 A: 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B: やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C: 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①日頃から家庭で災害に対する備えをしている市民の割合は、過去から文化センターを中心とした自主防災連絡会の活動が活発で、それに対してもう少し市民を巻き込みながらやっていこうというのが5年間の総括である。令和2年度に関しては、実績が70.1%と微増している。分析を見ると、連絡会の開催はできなかったが、広報誌などを活用し防災意識の啓発ができたとあり、東日本大震災から10年経ち、市民の皆さんの備えに対する意識が上がるタイミングで、少しずつ数字が上がっている。

②地域安全リーダー講習会受講者数は、参加者数が微増でBが続いていたので、何とかできないかと提案してきた。過去5年間の総括でもさらに若い世代の参加者を増やしていくことで、市の方も取り組んでいるが、講習会が1回しかなく、30名位入れば450人に到達するところが、20名だったり10何名だったりということで、うまく人を集められなかった経緯がある。ただ、最後の女性の参加者が増えたことは非常に期待が持てるとあり、それに伴って、若い人も増やしていてもらいたい。令和2年度は、実施ができなかったので実績はゼロだが、これに対して何か違う形でもっていければよかったと感じる。

【今後の施策展開に向けて】

①今までやってきたことを途切れないように継続してもらいたい。特に文化センターにおいては、自分を守るだけでなく、周りの地域の人と一緒に守っていきこう、助け合っていこうという部分を、もう少し強く出していけば、今後の市の助け合いがとても進むと期待する。

②防災安全に対する意識を持たせるために、こういうことやっていますよ、という広報的なものを増やし、協力者を増やしていくことを考えてもらいたい。

※災害は起こってから困ることがとても多いので、早め早めに意識させるために、継続して広報などを積極的に行ってもらいたい。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	4 地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	1 みんなが安心して暮らせる地域づくり
具体的な施策	② 公共施設・インフラの計画的な管理及び運営
主担当課	建築施設課、道路課、公園緑地課
施策概要	<p>・公共施設マネジメントの取組として、公共施設の最適化と計画的保全に努め、市民が将来にわたり良好な環境で施設を利用できるよう努めます。</p> <p>・老朽化が進むインフラ(道路・公園等)を長期にわたり安全に管理していくため、インフラマネジメント計画に基づき、推進します。</p>

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 公共施設の市民1人当たりの延床面積	㎡/人	現状維持						
		2.52	2.49	2.48	2.60	2.53	2.54	2.56
		/	A	A	B	B	B	B
② 公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	%	74.0						
		70.3	70.0	70.6	71.1	68.3	66.0	68.9
		/	B	B	B	C	C	C
R2年度指標の分析								
<p>①指標の算出には総延床面積を用いているが、リース期間が終了した施設を総延床面積に加算したことで、指標の実績値が増加している。</p> <p>②低下傾向だった数値は前年度より上昇したが、目標には達していない。</p>								

※評価 A: 目標達成に向け、順調に進捗している。

B: やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

C: 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①公共施設の市民1人当たりの延床面積は、KPIとしては目標が現状維持で、令和元年は2.54、令和2年は2.56と横ばいの傾向のため、目標達成に向けて順調に進んでいると評価できる。個別事業に関しては、白書の作成や民間のノウハウの活用など、各施設でいろいろ検討されているようなので、そういった部分でも計画的に順調に推移していると評価できる。

②公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度は、この5年間の推移は、数字的には下がっているので目標の達成は難しかったと言えるが、満足度調査の中だけで見ると、この緑に関する市民満足度は、トップクラスの評価の項目であり、割合の上下だけで決めるのはやや厳しい項目なのではないか。目標の達成に向けて、緑の量だけではなく、市民も参加して一緒に緑化保全していくなどの工夫も必要と思われる。市民協働の事業等でもそういった取組が検討されているようなので、これらも含めて、今後に期待したい。

【今後の施策展開に向けて】

①②新型コロナウイルス感染症の影響による働き方や暮らし方の変化で、公共施設に関する市への期待度、役割がとて高まっていると感じている。例えば、テレワークをするようになって、家の中が手狭になり、市の施設の自習室を使いたいとか、3密を避けて少し広い空間に行きたいというようなことで、公園の価値も上がっていると思う。ハードへの依存からソフトへの展開など、価値観の変化にもう少し着目して、指標自体を少し考えていく必要があるのではないか。コロナでできなかった事業が他にも多いと思うが、前向きに取り組んでいる事業があれば、そういった部分はしっかりと評価していくべきだと考える。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	4 地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	2 地域コミュニティの活性化
具体的な施策	① 地域交流・活動の促進
主担当課	地域コミュニティ課、協働推進課、指導室
施策概要	<p>・高齢者の社会的な孤立を防ぐとともに、子どもや学生が地域づくりに関わる機会を持てるよう、幅広い世代の交流を促進し、地域社会を支える共同体の機能を深めます。</p> <p>・相互友好協定を結んでいる東京外国語大学及び、東京農工大学及び明治大学をはじめ、市内の企業や市民活動団体等と連携することで、地域課題を市と市民が協働して解決する体制の整備を目指します。</p>

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 各文化センター圏域でのコミュニティ事業参加者数	人	231,000						
		222,427	228,575	238,754	236,873	228,588	182,514	9,125
		/	A	A	A	A	B	C
② 市と大学や企業等が協働実施している事業数	事業	現状値以上						
		59	56	41	43	54	55	45
		/	B	C	B	B	B	B
R2年度指標の分析								
<p>①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大多数の事業を実施することができなかった。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響により各事業を中止したため、減少した。</p>								

※評価 A: 目標達成に向け、順調に進捗している。

B: やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

C: 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①各文化センター圏域でのコミュニティ事業参加者数は、令和元年度は約18万人であり、前年の平成30年から約4万人減少した。これは、年度末にかけてコロナの影響を少なからず受けたものと考えられる。令和2年度は、年度初めからの度重なる緊急事態宣言の影響もあり、事業参加者数は大幅に減少し9,125人となった。その結果、進捗評価が前年度のBからCという結果は妥当であるといえる。

なお、事業参加者数による評価も重要であるが、今後は事業実施数についても把握したうえで、1事業あたりの参加者数の推移など多角的に検証する必要があると考えられる。

②市と大学や企業等が協働実施している事業数は令和元年度までがほぼ横ばいであり、進捗評価はBであった。しかし、令和2年度は、前年度比で10事業減り45であった。目標である現状値(59)以上という点を踏まえると、担当者評価による進捗評価がBというのはやや疑問が残る。10事業減った状況下において、進捗評価をBとした説明が求められる。その際、10事業減った要因がコロナの影響なのか、それとも他に原因があるのかについて、少し深掘りして検証する必要があると考えられる。

【今後の施策展開に向けて】

①文化センターのコミュニティ事業について、コミュニティ協議会委員の負担軽減と世代交代をどのように図っていくのかを、施策展開の中で具体的に考えていく必要がある。特に、世代交代を考えるうえで、実際に若い世代は地域行事に自分のプライベートの時間を削ってまで参加することが少なくなってきた。コミュニティ事業を続けていくことは、地域の結束力を高めることになり、ひいては災害時の助け合いなどにもつながる。こうした協力し合える関係づくりは、コミュニティ事業への参画、世代交代における動機付けの一つになると考えられる。

また、負担軽減という点においては、文化センター圏域ごとに事業を行っていくことの妥当性の検証も必要である。例えば、あるコミュニティ事業を複数の文化センターにおいて、当番制あるいは共同開催して行うと負担軽減になる可能性もある。現時点で、府中市のような大きな市において人的資源が不足することはないかもしれないが、地方都市や農村部では、集落や地区ごとの連携により、行事等を継承していく動きも見られる。

②地域貢献は大学における重要な課題となっている。今後、大学と市をマッチングできるような組織や場があれば、大学の研究室単位からも様々なニーズの掘り起こしにつながり、協働実施する事業数の増加も期待できる。

KPIとしては現状の指標で問題ないが、大学と企業では協働実施する事業内容が異なるので、大学と企業を分けて評価する必要があると考えられる。その方が、大学、企業それぞれにおいての事業増加に向けた方策も検討しやすい。

※今回、コロナの影響によって、約2年間にわたり様々な行事や活動が中止されてきた。これを機に、“本当に何が必要なのか”を検討することにより、事業の見直しは必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の総括評価

基本目標	4 地域とつながる安心な暮らしの確保		
基本的方向	2 地域コミュニティの活性化		
具体的な施策	② 空き家などの活用		
主担当課	環境政策課	関係課	住宅課、地域コミュニティ課
施策概要	・空き家や空き店舗などは、地域活動に活用できる重要なストックであることから、これらを有効活用し、地域コミュニティ拠点の整備などを目指します。		

1. 重要業績評価指標(KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標						
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 空き家等を活用したコミュニティ活動事例	人	実施						
		未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
		/	C	C	B	B	B	B
R2年度指標の分析								
①空き家等を活用したコミュニティ活動の推進に向け、関係機関と連携した相談体制を構築した。								

※評価 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

C:遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2. 協議会意見

【これまでの取組の総括】

①空き家等を活用したコミュニティ活動の推進に向け、府中市空き家等対策計画を策定し、空き家対策の基本方針の制定や、実施体制の確立などに取り組んできたが、空き家等を活用したコミュニティ活動事例は、未だ未実施である。空き家の利活用・適正管理に係るセミナーや個別相談会等を継続的に実施し、市民の空き家に関する理解を深めるほか、空き家の賃貸・売買・適正管理等の相談に対して、関係機関と連携した相談体制により適切な対応が行われていることは評価する。

【今後の施策展開に向けて】

①母子家庭を対象にした移住支援や、多くの方が地域コミュニティ活動の拠点としての場や、居場所を探しているが、そういったことにつなげられるよう、総合的な取組が必要ではないか。市民協働により、市民団体と持ち主をマッチングさせていくような、新たなアイデアのようなものを取り入れたものを進められたらよいと思う。また、姉妹都市の佐久穂町の大日向小学校でイエナプランスクールが開校し、佐久穂町の空き家に移住することが進められることがまちの活性化にもつながっているため、そういったことも参考に、今後検討してもらいたい。